

2007年5月の東北地方の天候

【5月の特徴】

- ・東北日本海側の寡照
- ・上旬の高温

(1) 2007年5月の概況

この期間、北日本付近を低気圧が頻繁に通過したため、東北地方は、東北日本海側を中心に曇りや雨の日が多くなった。また、上旬を中心に北日本を通過した低気圧に向かって暖気が入ったため、平均気温は高かった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北日本海側で平年並で、東北太平洋側で多い。月間日照時間は、東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：低気圧や気圧の谷が短い周期で通過した。低気圧や気圧の谷は日本海を進むことが多く、東北北部は曇りや雨の日が多くなったが、東北南部は晴れの日が多くなった。また、東北地方へは南から暖かい空気が入り、気温はかなり高かった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

中旬：低気圧や寒気を伴った気圧の谷が短い周期で通過した。このため、東北地方は北部を中心に曇りや雨の日が多く、気温は低めに経過した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。

下旬：期間の前半は、移動性高気圧に覆われて晴れたが、期間の後半は、低気圧や移動性高気圧が交互に通過したため、天気は周期的に変化した。25日には日本海北部に停滞した低気圧と、前線を伴った日本海西部の低気圧が東北南部に接近した影響で、まとまった雨となった。

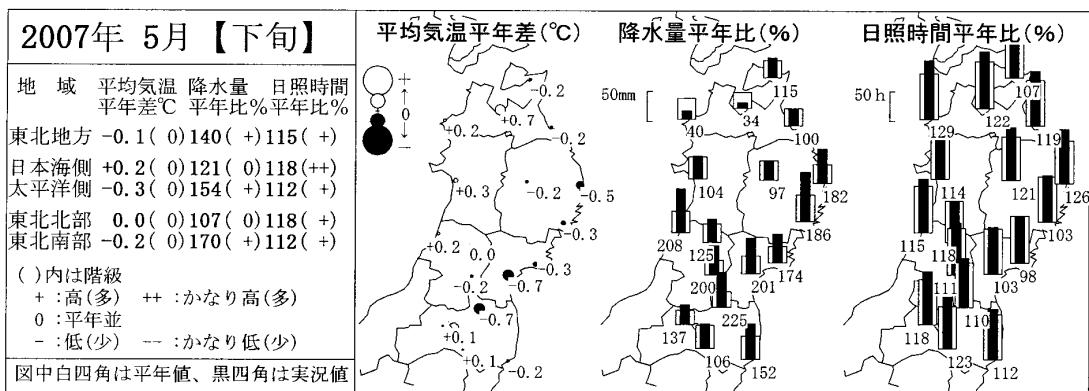
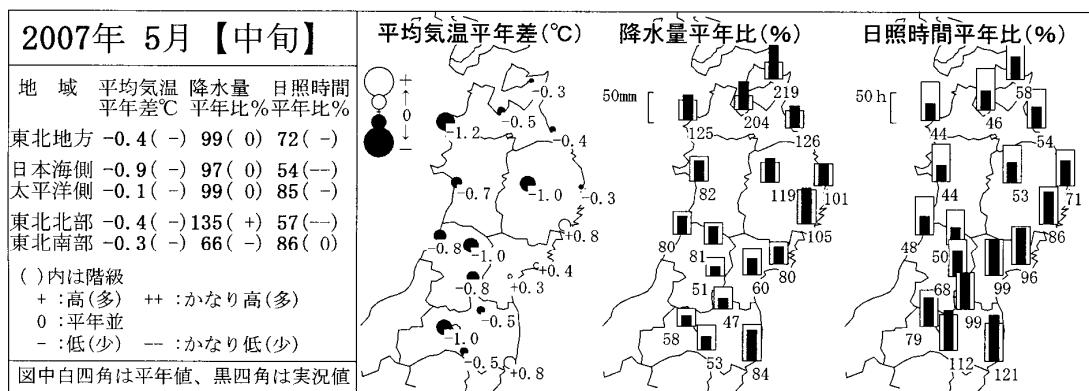
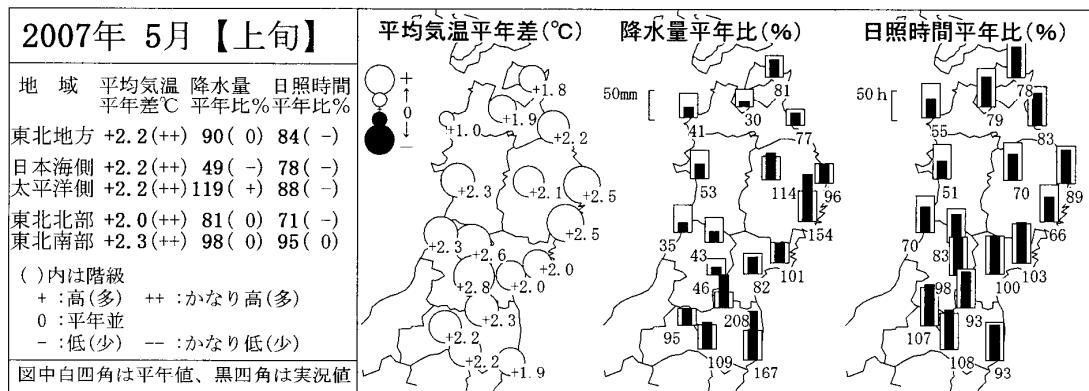
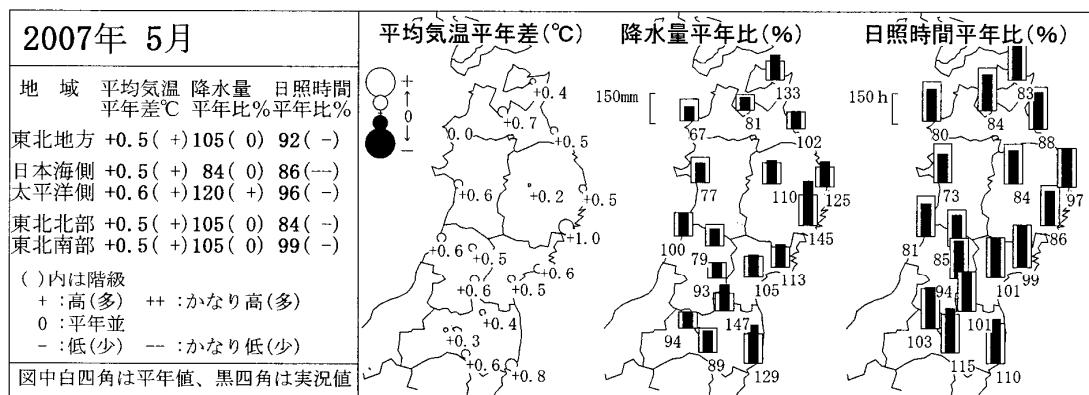
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で平年並で、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2007年5月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2007 年 5 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	()	()		(mm)	(%)			1mm	(h)	
青 森	13.8	(+0.7)	+	64.0	(81)		12	177.1	(84)	-
深 浦	13.0	(0.0)		72.5	(67)	-	9	157.0	(80)	- *
む つ	12.5	(+0.4)		122.5	(133)	+	13	171.5	(83)	-
八 戸	13.6	(+0.5)		86.0	(102)		15	181.9	(88)	-
秋 田	14.8	(+0.6)	+	95.0	(77)	-	13	139.7	(73)	- *
盛 岡	14.0	(+0.2)		114.0	(110)	+	14	162.8	(84)	-
大 船 渡	14.6	(+1.0)	+	217.0	(145)	+	11	169.3	(86)	-
宮 古	13.6	(+0.5)	+	123.0	(125)	+	11	186.4	(97)	
仙 台	15.4	(+0.5)	+	113.5	(105)		8	199.8	(101)	
石 卷	14.6	(+0.6)	+	111.0	(113)		8	204.3	(99)	-
山 形	16.0	(+0.6)		76.5	(94)		10	189.4	(94)	-
新 庄	14.7	(+0.5)		84.5	(79)	-	12	153.9	(85)	-
酒 田	15.5	(+0.6)	+	117.0	(100)		12	160.6	(81)	- *
福 島	16.9	(+0.4)		129.0	(147)	+ *	9	200.2	(101)	
若 松	15.8	(+0.3)		75.5	(94)		10	203.1	(103)	
白 河	15.4	(+0.6)	+	106.5	(89)		11	216.5	(115)	+
小 名 浜	15.9	(+0.8)	+	189.5	(129)	+	10	217.7	(110)	+

(注)1. 平年値は1971~2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ :高い(多い) :平年並 - :低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

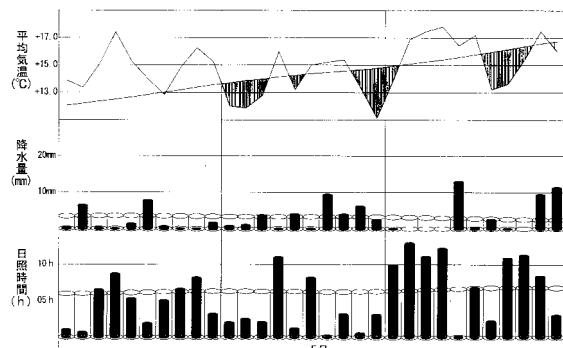
また、値が 1971 ~ 2000 年の観測値の上位または下位 10% に相当する場合には階級の「 + - 」に * を附加した。この場合には

と表現できる。

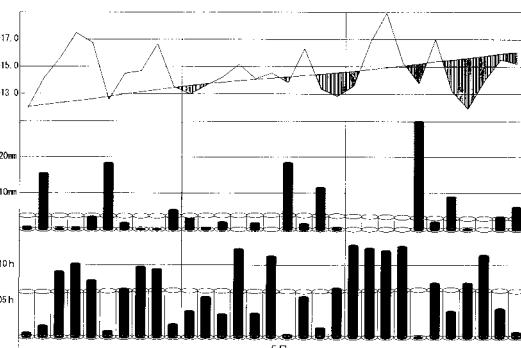
3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準完全値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2007 年 5 月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図

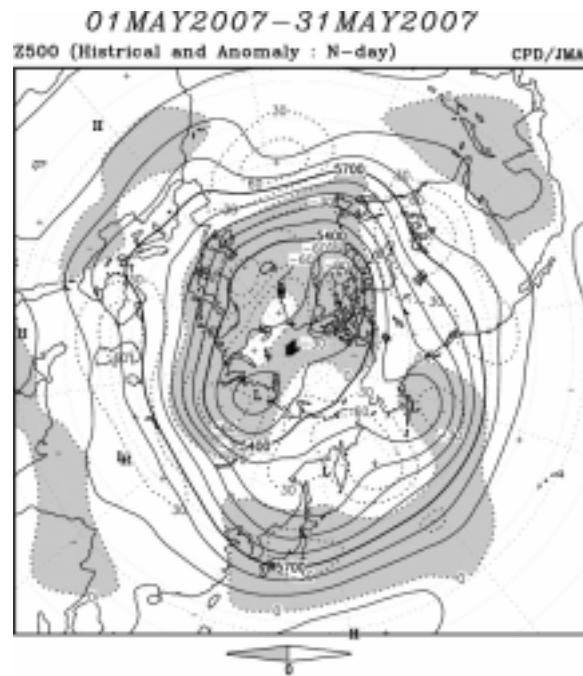
氣象官署の日別観測値と日別平均値の地域平均（気温：寒線と卓線、降水量：日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2007 年 5 月の極値・順位の更新
(月平均気温、月降水量、月間日照時間の 3 位まで。)

なし

(7) 2007 年 5 月の循環場の特徴

500hPa 高度では、東シベリアからベーリング海で正偏差、中国大陆東岸から日本付近にかけて負偏差で、負偏差の中心は北日本付近となっている。日本付近は気圧の谷となっており、低気圧が北日本付近を頻繁に通過した。時々上空に寒気が入り、雷の発生したところがあつたが、低気圧に向かって暖気が入ったため、500hPa 高度場のイメージほど地上気温は下がっていない。また、太平洋高気圧の張り出しが弱く、本州南岸の前線帯が顕在化しにくかった。



2007 年 5 月の平均 500hPa 高度
実線は等高度線 : 60m 每、点線は偏差 : 30m 每
陰影部は負偏差 (寒気に対応)